

横浜市立大鳥中学校 学校評価報告書 令和4年度

重点取組分野	令和4年度		総括
	具体的取組	自己評価結果	
考える力	<ul style="list-style-type: none"> <li>○全教科を通じて基礎基本の定着と主体的に学ぶ力を育てるために授業改善に努めます。</li> <li>○学習相談日を設定し、生徒の困り感に対応できる体制を作ります。</li> <li>○指導と評価の一体化を図り生徒にとってわかりやすい評価をします。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○指導者を招いての校内授業研や評価研修会、本牧学園ブロックとしての授業研究等、授業改善の取り組みを活発に行いました。</li> <li>○放課後やテスト前の学習支援、長期休業中の学習会を体系的に行うようにして、さらに有効活用する必要があります。</li> <li>○今後、評定の「1」を減らす取り組みが必要です。</li> </ul>	B
感じる心	<ul style="list-style-type: none"> <li>○社会とのつながりを大切にしながら、自らの生き方を考える力の育成に努めます。</li> <li>○生徒会活動を活性化させ、校内の問題や課題解決に取り組む力を育てます。</li> <li>○人権教育を推進し差別について学ぶ機会を作ります。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○生徒会を中心に大鳥中学校を支えていただいている方々への感謝の心を大切にしました。(花ボランティアの方、各行事の講師の方)</li> <li>○道徳や、人権教育の教材を丁寧に準備し授業を行うとともに、担任を中心として日々の生活の中で粘り強く指導を行っています。</li> </ul>	A
考える力 (健やかな体)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○学校保健委員会や日々の保健指導を通じて、基本的な生活習慣を確立させ、健康に対する意識を高めます。</li> <li>○食育をすすめるため、組織的な取り組みをします。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○学校保健委員会の活動により、換気への取り組み、マスクの着用等の環境整備への意識が向上しています。</li> <li>○教職員、保護者の理解のもと、来年度の給食推進校への取り組みを進めることができました。</li> </ul>	A
行動する 鳥中生	<ul style="list-style-type: none"> <li>○新たな時代を切り開いていくための「失敗を恐れずチャレンジができる」生徒を育てます。</li> <li>○生徒一人ひとりの個性を生徒指導研修会等で共有し、チャレンジを支えるための合理的配慮を徹底します。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○生徒自らの発案による企画が大変活発になってきました。生徒会発案の「男子更衣室開設、カードゲーム貸し出し、自動販売機内飲み物に炭酸飲料を入れる」や、吹奏楽部発案の「体育大会お昼の音楽演奏」等。</li> </ul>	A
いじめへの 対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>○生徒理解を深め、生徒との信頼関係を基盤とした指導と支援の両輪で寄り添いながら実践します。</li> <li>○教育相談やアンケートを活用し、いじめの早期発見に努め、いじめ防止対策委員会で組織的対応をします。</li> <li>○個々の生徒指導上の問題を全職員で共有して組織的対応を目指します。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○週1回であった学年主任中心の「いじめ防止連絡会議」を毎日実施するようにして、学年間の生徒指導の連携を大切にしました。</li> <li>○週1回の生徒指導部の「いじめ防止対策委員会」には校長が資料を用意し、カウンセリングマインド等様々な研修を毎回行いました。各教職員は生徒の心へ寄り添う指導ができてきています。</li> </ul>	A
人材育成・ 組織運営 (働き方)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○教職員が意欲的に学校運営に参画し、お互いに支え合う教職員体制を作ります。</li> <li>○多忙化改善に向けて組織運営を検討し、働き方改革を進めます。</li> <li>○経験の浅い職員を育てる風土を作ります。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○若手職員の育成が実り、力をつけてきています。</li> <li>○第3学年の業務管理と適正な計画年休所得の素晴らしい取り組みがありました。</li> <li>○職員室アシスタントの工夫により、印刷物や保護者向け文章作成への負担軽減が図られました。</li> </ul>	B
学校運営 協議会	<ul style="list-style-type: none"> <li>○学校教育活動を積極的に公開し、教育活動の点検を活かした学校運営を実践します。</li> <li>○学校運営協議会の活動報告を家庭や地域に周知して信頼できる学校づくりに努めます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○長年の目標であった2中4小連携の本牧学園学校運営協議会を11月にスタートさせることができました。</li> <li>○タウンニュース誌や、学校便りにより、上記の取り組みを家庭や地域に周知することができました。</li> </ul>	A
特別支援教育	<ul style="list-style-type: none"> <li>○個別支援学級と一般学級の生徒との共同学習を進めます。</li> <li>○特別支援教室を組織的に運営します。</li> <li>○特別支援教室を安心して利用できるように地域や保護者に周知します。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○生徒の適性に応じた教育相談を行い、ケース会議等につなげ、適切な学びの場を提供することができました。</li> <li>○特別支援コーディネーターを中心に定期的な会議を行い情報の共有ができています。引き続き学習支援に関する取り組みを行います。</li> </ul>	B
教室環境整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>○教職員・生徒・保護者が環境整備への意識を高め、清潔で安心できる教育環境を作ります。</li> <li>○定期的な整備点検活動や破損個所の速やかな修繕対応に努めます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○学校用務員の日々の活動が大変素晴らしく、清潔で安心できる教育環境が保たれています。</li> <li>○美化委員会が発案した「美化月間」の取り組み状況を全校集会で表彰することにより、美化意識がより向上しました。</li> </ul>	A
地域連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>○生徒一人ひとりが地域に親しみ、地域の発展に協力できるように支援します。</li> <li>○学校・家庭・地域連携事業を2中4小連携で活性化していくように努めます。</li> <li>○持続可能な社会を目指した活動ができるように準備します。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○地域の協力による「あいさつ運動」の継続は大きな成果となっています。生徒会や委員会、部活動の生徒も積極的に参加しています。</li> <li>○吹奏楽部の地域演奏、学習室の野菜販売、2学年の「本牧ガチャ」への商品企画参入等、大変活発な活動になってきています。</li> </ul>	A
ブロック内 評価後の 気付き			
学校関係者 評価			
中期取組 目標 振り返り	<ul style="list-style-type: none"> <li>○今年もコロナ禍でのスタートでしたが、開催可能な行事は全て行いました。3年生の沖縄修学旅行や、文化祭での合唱、交遊祭の開催は、リスクもありましたが、大きな成果があり、教職員、生徒、保護者の満足度の高いものとなりました。</li> <li>○授業改善や、生徒の学習環境改善に関して様々な取り組みを行いました。来年度も継続して行っています。</li> </ul>		